



寛政五年創業の杉の森酒造をリノベして誕生した宿「BYAKU - Narai」にチップボイラ Eco-HK120を導入しました。ボイラの熱は大浴場の加温とレストランの床暖房に使用されています。



中山道の宿場町である奈良井宿は日本の中世の面影を色濃く残しています。



温浴施設「山泉」はボイラの主な利用先です。今回、リノベにあわせて酒造も再開されました。



コンテナ内にボイラから1次側の熱交換器までの配管を取り付けた状態で出荷するため、現場の施工が短期間で完了します。

メーカー	ハーガスナー (オーストリア)
型式	Eco-HK 120
出力	120kW
燃料	乾燥チップ (水分35%以下)
ボイラ庫	鉄製コンテナ式
サイロ	木製
垂直搬送機	チップ搬送能力50m <sup>3</sup> /時
遠隔監視	オンサイト (チップ残量通知ほか)
用途	宿泊施設の給湯(風呂等)と床暖房
ボイラ関係 設計・施工	ラブ・フォレスト株式会社 長野市桐原1丁目4-54



左からチップの垂直搬送機、木製チップサイロ、ボイラコンテナ

